

家族組合再建強化にむけ躍動!

1・16団結旗ひらきの圧倒的成功をもって、勤労内一部反動分子、革マルによる千葉地本破壊策動粉砕、勤労の階級的組合民主主義の確立にむけた闘いは着実に前進している。千葉地本の不退転の決意は、いまや全国へ伝播し、其感をもって迎えられている。いま全国の取場で「労農連帯に敵対した反動的・セクト的組合支配反対!」の声が広まっている。

そしてなによりも地本内総決起体制を磐石にする要となる、家族の理解・協力と闘いへの参加をさらに強固にすべく、家族組合再建強化の活動が展開されている。

三池CO単独 松尾恵虹さんを囲み、各地で交流会

団結旗ひらきに、はるばる九州・大牟田から参加された松尾恵虹さん(斗いの中で三井三池労組家族会・炭婦協を組織し現在CO訴訟を闘ってあらわれる)を迎えて、16日成田・関川委員長宅、19日天台集会所、更に勝浦運転区講習室でそれぞれ、家族、組合員、支部役員が参加し膝をつき合ひした交流会が行われた。

この交流会に、松尾さん自身の三井資本・権力との執念の闘いの貴重な経験談、また御主人が16年前の三池炭鉱爆発事故により一酸化炭素中毒(CO患者)にされて以来、今日まで、組合の「闘争放棄」に抗議し企業責任を追及し、単独で裁判闘争を闘っている報告をうけ、参加した家族・組合員は感動して聞き入った。

そして松尾さんは、「私は当初組合には批判的だった。首切り攻撃があったとき、飯茶碗を叩き落された人はどんな思いをしているんだ

旗ひらきでの発言より

革マルの破壊暴力には正義の實力で勝ちぬく。津田沼支部・片岡支部長
勤労は、今、正義と不正義の決戦に入った。革マル分子の千葉への攻勢は、一戸エスカレーターしている。「経団連へのいかりは、すでに千葉地本・支部・一四〇〇名を標的とした」「再登壇攻撃」そのものだ。不正義の暴力の前に正義が屈服する訳にはいかない。

正義の實力で勝ちぬいていこう。(要旨)

真理は阻止できない!

二期工事の粉砕、三里塚農民

「三里塚も勤労千葉も、我々は信念の闘いをやってきました。多くの人がしがらみを捨てたのは、そこに真理があるからだ。真理は阻止できない。これに逆う者は必ずうち倒される。」

5・20強行閉鎖以降、権力はあせりにみちた悪徳行を働いている。先日は韓国むけの米電キヤーター機がフリーパスで成田へ入りました。まさに指弾した通りの軍事攻撃だ。

今日の旗ひらきはエポックメイキングだ。斗いは勝利するまで覚悟をしなければならぬ。勤労千葉地本を力に。(要旨)

ろっか、解雇された人を守ることを自分を守るのだ」と気づいて私は生れ変わった。それから家族会に積極的に参加した。「オニ組合にいった人達の原因は、奥さんが経済的な不平不満をいってダンナの足を引張ったからだ。だから闘いには家族組合の力が重要だ。千葉地本が家族ぐるみの闘いを展開しようとしている事は心強い。正しいと思うことは弾圧・イヤガラセがあるうとやめてはならない。」と提起され、参加者は自らの課題として受けとめた。そして様々な意見を交換し有意義なうちに交流会は進んだ。

こうして各地での松尾さんを囲む交流会は成功し、家族ぐるみの闘いの必要性を痛感して家族組合の強化を誓いあつて散会したのである。

松尾さんの感想

二支部一地区を回ったが、それぞれがガンバっている家族の人にあえて心強く感じた。天台での交流会は、23才の子供をつれた家族の方が多く、私の三池斗争当時を思い起した。これなら勤労千葉はやれると思った。(要旨)

協同サークル地本
才5回
囲碁・将棋大会
日時：1月27日(土)
10時より
場所：千葉動力車
会館(地本)
※ 囲碁・将棋はA、Bクラス
別とする。